

応援
します!

荒川区長 西川太一郎

自由民主党
荒川総支部長

志村博司

もぎぞう

ひろし

<http://www.h-mogi.jp/>



住みなれた 荒川を!! もっと住み良い 荒川に!!

- ① 三河島再開発事業を進め、第2スポーツセンターの建設。
- ② 区内産業の発展・育成。繊維街を中心に観光客の誘致。
- ③ 日暮里駅南口紅葉橋の付け替えとバリアフリー化。
- ④ 西日暮里再開発事業の推進、他区からも大勢の人が集まる施設を作り周辺活性化の起爆剤に。
- ⑤ 障害をお持ちの方の生活支援。グループホームの誘致・整備。
- ⑥ 実行性のある子育て支援事業の策定・推進。
- ⑦ 習熟度別学習や寺子屋を充実し学力向上。
老朽化した校舎の改修・建て替えの推進。
- ⑧ 防犯カメラの整備を行い、特殊サギ防止など犯罪のない街に。



もぎ弘の

これから実現させること



三河島再開発イメージ図

1 三河島再開発事業を進め、第2スポーツセンターの建設。

三河島再開発事業は計画から長い時間がかかっています。協力いただいている地権者も高齢化しています。完成を急がなければなりません。現在の計画では区民から要望の多いスポーツセンターの建設、高齢者住宅が予定されています。

2 区内産業の発展・育成。繊維街を中心に観光客の誘致。

区内産業も長引いたコロナ禍で厳しい状況にある企業、商店がたくさんあります。この状況を乗り切れば将来の発展が見込める企業や独自の技術をお持ちの企業を積極的に支援するべきと考えます。観光客の誘致や他地区からお客様を呼び込む効果に期待できます。幸い谷中銀座等には多くの方にお集まりいただいております。この方たちに日暮里まで来ていただくための政策、支援策が必要と考えます。

3 日暮里駅南口紅葉橋の付け替えとバリアフリー化。

日暮里駅南口紅葉橋の付け替えもなかなか進みません。区道であるためJR、京成電鉄の協力がなかなか難しいためです。しかし、利用者のほとんどはJR、京成電鉄の利用者です。区ばかりで工事費を負担するのはおかしいと思います。雨の日などは特に大変です。バリアフリー化も難航しています。道路をまたぐこと、設置する場所がないとの問題は理解しますが、現在の工事技術ならやりようはあると思います。早期の付け替えとバリアフリー化を要求し続けます。

4 西日暮里再開発事業の推進、他区からも大勢の人が集まる施設を作り周辺活性化の起爆剤に。

西日暮里再開発事業も計画から20年も経っています。現在順調に進んでいますが荒川区にとって最後に残った駅前の貴重な土地、地域です。中学校跡地、保育所等、区の財産を使つての再開発です。失敗は許されません。私は商業施設の誘致が成功のカギになると考えています。西日暮里駅を利用するだけでなく、立ち寄っていただく。また、他の地区からも集客することができるテナントを集めて欲しいと主張しています。そして、その活性化を荒川区全体に広げるような再開発事業となる事を期待しています。

5 障害をお持ちの方の生活支援。グループホームの誘致・整備

障害をお持ちの方の生活支援も急務です。障害をお持ちの方の両親も高齢化してきています。親亡き後が心配との声も多く聞きます。グループホームの誘致も積極的に取り組んでいますが、現在の制度では採算に乗らないと事業者から言われています。区の支援も必要ですが国や、都にもっと手厚い支援を求めて参ります。

6 実行性のある子育て支援事業の策定・推進。

荒川区では子育て支援を積極的に取り組んでいます。保育園も数多く作ることができ待機児童もなくなりました。しかし、幼稚園や家庭で子育てされる方の支援は保育園に通っている方の支援に比べると、まだ足りないと考えています。

今年から小学校、中学校の給食費の無償化が始まります。これからも実効性のある支援策を進めて参ります。

7 習熟度別学習や寺子屋を充実し学力向上。老朽化した校舎の改修・建て替えの推進。

学力向上も大事な問題です。特に家庭の事情で勉強しにくい児童には区が積極的に取り組むべきと考えます。建設後60年余老朽化している学校もあります。建て替えが急がれます。現在は改修工事を行い長寿命化していますがいずれ建て替えの時期が来ます。一校約30億円ともいわれる工事は計画的に時期をずらし順番に建て替えしなくてはなりません。工事代金もその時に困らないように毎年基金を積み必要があると考えています。

8 防犯カメラの整備を行い、特殊サギ防止など犯罪のない街に。

防犯カメラの重要性は皆さんご存じの通りです。区も進めています。古くなって付け替えの時期になっているカメラもあります。区の支援の必要があると考えています。

特に最近増えてきた悪質な凶悪犯罪の対策も急務です。また、振り込め詐欺対策ももっと進めるべきと考えます。

家庭でも無理なく介護できる環境整備

高齢者対策も急がれます。区立の特別養護老人ホームも入居するのが大変です。民間のホームは利用料金が高額で負担が大変です。区立の特別養護老人ホームも老朽化してきています。新設する場所もありません。対策が必要です。やはり、家庭でも無理なく介護できる環境整備が必要と考えています。

いざという時の防災対策の充実

防災対策の重要性は区も認識しています。いざという時に必要な備品の備蓄、避難訓練は重要です。避難所となる学校も昼間の震災時には児童もいます。現在の計画で大丈夫かと心配しています。また、水害対策も必要があると考えています。どちらも道路が使えない場合も想定して対策を講じる必要があると考えています。

もぎ弘のこれから実現させること

住みなれた荒川区を、もっと住みやすい荒川区にしてゆくためには、まだまだこれからやっていかなければならない事がたくさんあります。現在の荒川区は人口も増え、税収も増えてきています。若い方からも荒川区は住みやすい街、住んでみたい街との評価をいただいた結果と考えています。

しかし、現状に甘えることなく行政改革を行い、支出を抑え、区民にとって真に必要な政策を充実させてゆく事が大切だと考えます。

基金もだいぶ増やすことができました。ただ、老朽化しつつある学校(昭和30年代に建設された学校も多数あります)や公共施設の建て替えの時期が迫ってきています。大規模改修工事を行い、長寿命化を図る事は大事ですが、いつかは建て替えなければならない時が必ず来ます。区役所庁舎も同様です。将来の需要に備えしっかりと資金計画を立ててゆく必要があると考えます。

新時代を生きる子供たちに負担を掛けるわけにはいきません。今やらなければならない事がたくさんあると考えています。

もぎ弘



- ・昭和28年 荒川区日暮里に生まれる 69歳
- ・昭和41年 荒川区立第三日暮里小学校卒業
- ・昭和51年 慶應義塾大学商学部卒業
- ・2年間のサラリーマンの後、家業の繊維ウエイト業
- ・平成11年 荒川区議会議員当選(6期24年)
- ・第57代荒川区議会議長(23区議長会副会長)
- ・第67代荒川区議会議長
- ・荒川区監査委員、予算特別委員会委員長、決算特別委員会委員長、総務委員会委員長、文教子育て委員会委員長等を歴任
- ・地域では東日暮里1・2丁目町会副会長
- ・荒川区一輪車協会会長、荒川区囲碁連盟理事長、荒川区少年野球連盟副会長、荒川区ビーチボール協会理事



もぎ弘 事務所

〒116-0014
荒川区東日暮里2-47-5
Tel. 03-3891-9036
<http://www.h-mogi.jp/>